

平成28年度 熊本県教育委員会指定「生きる力」を育む研究指定校  
平成27・28年度菊陽町教育委員会指定「学力充実（ICT機器活用）」推進校

## 小学校英語教育研究推進校公開授業

### 研究主題

自ら学び、いきいきとコミュニケーションを図る児童の育成  
～外国語活動やICT活用のよさをいかして～



### はじめに

本校は、平成28年度熊本県教育委員会指定「生きる力」を育む研究指定校及び平成27・28年度菊陽町教育委員会指定「学力充実（ICT機器活用）」推進校として、研究を推進してきました。本年度は研究主題を、「自ら学び、いきいきとコミュニケーションを図る児童の育成」と設定し、全職員で授業実践を中心取り組んできました。

全校児童83名という小規模校の特長を生かし、一人一人に丁寧に向かい合い、それぞれのよさを伸ばしてきました。逆に、少人数ゆえの課題についても、創意工夫を重ね試行錯誤を繰り返すことで、克服してきました。その真摯な教育実践が、児童を育て、職員を伸ばしていることにつながっていると確信しています。

外国語活動やICT活用という時代の変化がもたらした「流行」の中で培われる力は、本校教育にかける職員の情熱と努力という「不易」たるものの中で育まれています。まだまだ道半ばの研究ではあります、多くの課題も残っています。今後、さらに研究を深め、よりよいものにしていきたいと思います。皆さまの忌憚のない、ご指導ご助言を賜りますようよろしくお願ひいたします。

菊陽町立菊陽南小学校長 渡邊 浩文

平成29年2月8日（水）  
菊陽町立菊陽南小学校

## 1 研究主題

### 自ら学び、いきいきとコミュニケーションを図る児童の育成 ～外国語活動やＩＣＴ活用のよさをいかして～

## 2 主題設定の理由

#### (1) 今日的な課題から

- 高度情報化社会の到来、社会や経済のグローバル化の進展
- 変化に対応する力、他者と意思疎通を図りながら自分の考えを相手に伝える力が求められる。
- 必要な情報を取捨選択しながら、様々な問題を解決するために必要な見方・考え方を主体的に獲得していく経験が不可欠である。
- 外国語活動やＩＣＴ活用のよさをいかして、課題解決のために自ら学び、積極的に自分の周りの人と関わっていく児童を育てる。

#### (2) 本校の教育目標から 「夢と笑顔、歩みつづける南っ子」

- 初めて遭遇するような場面でも、自分で課題を見つけ、自ら考え、判断し、自ら問題を解決していく能力を培っていく。
- 伝え合う活動を工夫することで、相手を理解し、協調が図られ、コミュニケーション能力を向上させていく。

#### (3) 児童の実態から

- 明るく素直で、何事においても活動的である。
- 異学年とも仲良く遊ぶことができる。
- やるべきことをしっかりとできる。
- 主体的な行動や意欲的に学習に向かう意欲が低い。
- 理論立てて話すことや、相手の考えを受け止めながら、自分の考えを付け加えて相手に返すことが苦手

以上のようなことから、学習に意欲的に取り組み、いかなるときも自分の考えを堂々と発言し、他者と伝え合うことができる児童を育てたい。

## 3 研究主題のとらえ方

#### 自ら学ぶ児童

知識や技能を身につけることに喜びや達成感を感じ、主体的に学習活動に取り組む児童

#### いきいきとコミュニケーションを図る児童

活気にあふれ、積極的に自分の周りの人たちとかかわっていく児童

#### 外国語活動のよさ

ジェスチャーを使ったり、知っている言葉を駆使したりして、どうにかして伝えようとする。そのような活動を通して、相手も真剣に耳を傾け、協力してコミュニケーションを図ろうとする土壌が生まれる。

#### ＩＣＴ活用のよさ

映像や音声などを利用することができ、従来の授業より多角的に学習ができ、多様性もある。また、児童が調べ学習やグループ学習でタブレット等の活用を図ることで、学習意欲の向上にもつながる。

## 4 研究の仮説及び視点

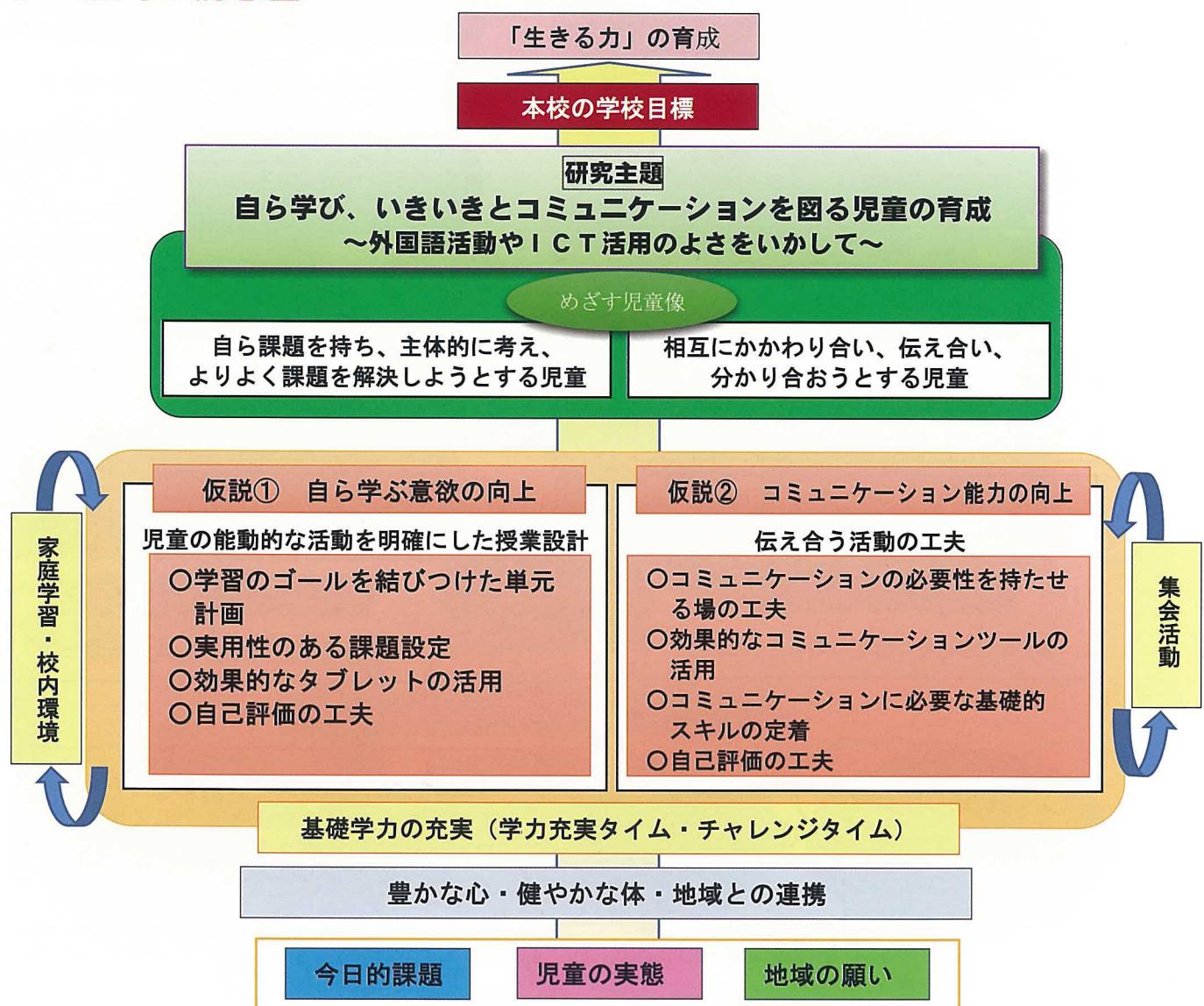
【仮説1】児童の能動的な活動を明確にした授業設計を行えば、児童は自ら学ぶであろう。

研究の視点	○学習のゴールを結びつけた単元計画 ○実用性のある課題設定 ○効果的なタブレットの活用 ○自己評価の工夫
-------	---

【仮説2】伝え合う活動を工夫すれば、児童はいきいきとコミュニケーションを図るであろう。

研究の視点	○コミュニケーションの必要性を持たせる場の工夫 ○効果的なコミュニケーションツールの活用 ○コミュニケーションに必要な基礎的スキルの定着 ○自己評価の工夫
-------	--

## 5 研究の構想図

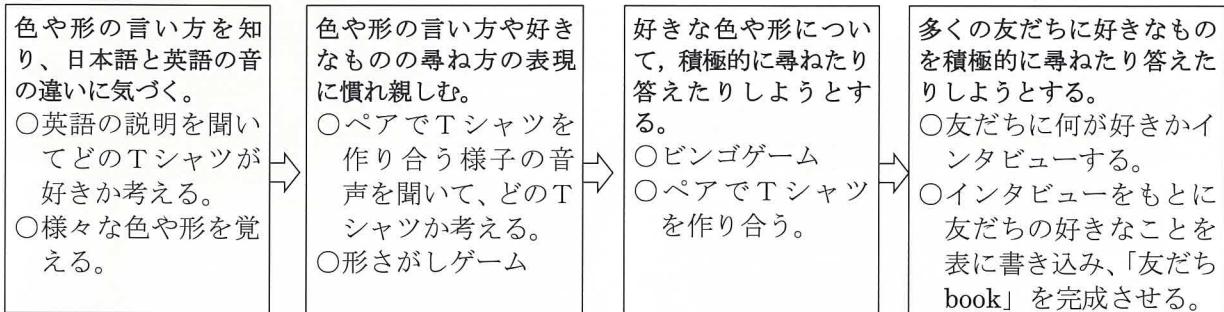


## 6 研究の実際

### (1) 研究授業①

【5年 友だちにインタビューしよう What ~ do you like?】

【単元計画】



仮説1  
学習のゴールを結びつけた単元計画

過程	学習活動（主な発問等）
導入	<p>【Warming up】</p> <p>0 タブレットを使ってウォーミングアップを行う。</p> <p>1 はじめの挨拶をする。</p> <p>2 《チャンツ♪What color do you like?♪》</p> <p>3 今日のめあてを確認する。</p> <p>友だちに好きなcolorやshapeを聞いて、すばらしいTシャツを作ろう。</p>
展開	<p>【Main activities】</p> <p>4 《Activity1：色形bingoゲームをする》</p> <p>たくさんの友だちの好きな色や形を聞いて、bingoを作ろう</p> <p>5 《Activity2：オリジナルTシャツを作る》</p> <p>ペアの子の好きな色や形、数を聞いて、Tシャツを作ろう</p> <p>6 オリジナルTシャツあてクイズをする。</p> <p>友だちのTシャツをあてるために、どんなことを聞けばいいでしょう。</p>
まとめ	<p>【Looking back】</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 終わりの挨拶をする。</p>

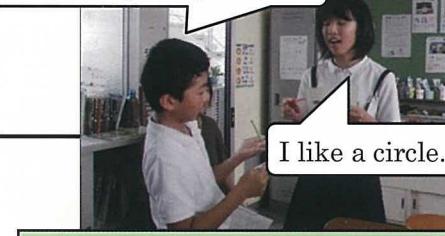
How many pencils?



Three pencils.

タブレットでフラッシュ学習

What shape do you like?



I like a circle.

bingoゲームで英語表現を何度も経験させる

私のTシャツを当ててください



What color do you like?

I like a red.

ペアで使った表現を再度全体で表現



英語で友だちの好きなことをもっと聞いてみたいですね。

本時の表現で他に何を聞きたいか次につなげる



学習のゴールで「友だちbook」の完成

仮説1  
効果的なタブレットの活用

仮説2  
コミュニケーションに必要な基礎的スキルの定着

仮説1  
実用性のある課題設定

仮説1  
自己評価の工夫

## (2) 研究授業②

【6年 できることを紹介しよう I can swim.】

過程	学習活動																						
導入	<p><b>[Warming up]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめの挨拶をする。</li> <li>«チャンツ♪Can you swim?♪»</li> <li>今日のめあてを確認する。 何ができるか先生たちにインタビューして、Who am I (○○先生) クイズをしよう。</li> </ol>	<p>Can you swim?</p>  <p>Yes, I can.</p>	<p>仮説2 コミュニケーションに必要な基礎的スキルの定着</p>																				
展開	<p><b>[Main activities]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>全体で練習する</li> </ol> <p>Can you~? ----Yes,I can. ----No, I can't. を練習しよう</p>	 <p>本時に使う表現を全体で反復練習</p>	<p>仮説1 効果的なタブレットの活用</p>																				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>ペア練習をタブレットに録画する</li> </ol> <p>録画したものを見て自分の話し方を改善しよう。</p>	<p>私ってこんな風に話しているんだ。もう少し目を見て話そう。</p>																					
	<ol style="list-style-type: none"> <li>《Activity : Who am I? 》</li> </ol> <p>何ができるか先生たちにインタビューして、Who am I (○○先生) クイズをしよう。</p>	<p>録画機能を使って自分の伝え方を客観的に振り返る</p> <p>Can you ride a unicycle?</p>  <p>Unicycle? What?</p> <p>伝わらない? どうやって伝えよう。ジェスチャーなら…</p> <p>尋ねられた側はあえて分からぬふり</p>	<p>仮説2 コミュニケーションの必要性を持たせる場の工夫</p>																				
まとめ	<p><b>[Looking back]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返る。</li> </ol> <table border="1"> <tr> <td>✓ 美顔で楽しく学習できましたか。</td> <td>(^-^)</td> <td>(^-^)</td> <td>(&gt;-&lt;)</td> </tr> <tr> <td>ハッキリした声で話すことができましたか。</td> <td>(^-^)</td> <td>(^-^)</td> <td>(&gt;-&lt;)</td> </tr> <tr> <td>相手を見て、話したり聞いたりできましたか。</td> <td>(^-^)</td> <td>(^-^)</td> <td>(&gt;-&lt;)</td> </tr> <tr> <td>英語や日本語の、言葉や文化のちがいを感じましたか。</td> <td>(^-^)</td> <td>(^-^)</td> <td>(&gt;-&lt;)</td> </tr> <tr> <td>今日の感想</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	✓ 美顔で楽しく学習できましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)	ハッキリした声で話すことができましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)	相手を見て、話したり聞いたりできましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)	英語や日本語の、言葉や文化のちがいを感じましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)	今日の感想				 <p>振り返りカードに Activity 等で気づいたことを書く</p>	<p>仮説2 自己評価の工夫</p>
✓ 美顔で楽しく学習できましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)																				
ハッキリした声で話すことができましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)																				
相手を見て、話したり聞いたりできましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)																				
英語や日本語の、言葉や文化のちがいを感じましたか。	(^-^)	(^-^)	(>-<)																				
今日の感想																							
	<ol style="list-style-type: none"> <li>終わりの挨拶をする。</li> </ol>																						

## 7 研究の内容

### (1) 外国語に触れる日常活動（授業研究部）

本校では、児童が日常的に外国語に触れるようするため、縦割り班活動や校内放送を使い、下記のような様々な日常活動に取り組んでいる。

#### Yeah! 5の日



5の付く日は、児童も職員も意識して英語を使って話します。

#### サウスくんティ



縦割り班で活動する一日は、英語を使って遊びます。

#### 英語放送



5の付く日の朝の放送は、英語でのアナウンスです。

#### 授業前のチャンツ



授業前の意欲付けに、英語を使ってチャンツをする学年もあります。

#### 教育講演会



本校卒業生であるタレントのMEGさんを招いて教育講演会を開きました。

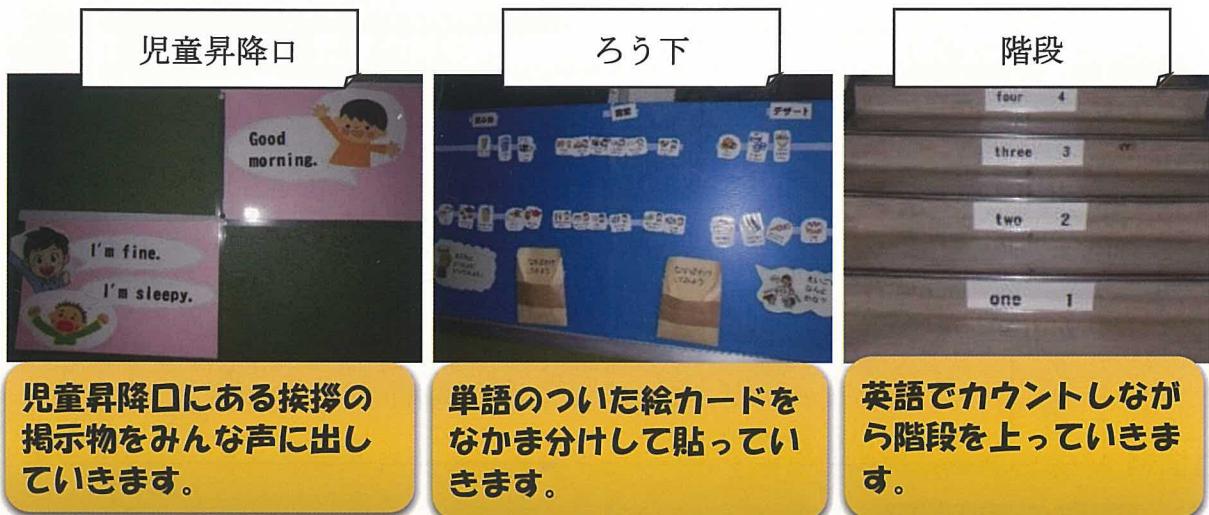
サッカーを習っててうまくいかないことがあるけど、MEGさんの話を聞いて勇気が出ました。（5年生）

もっと MEGさんみたいに英語を話せるようになります。（1年生）

子どもたちの感想

## (2) 外国語に触れる環境整備（環境整備部）

児童に英語への関心を持たせるために、低学年の児童もゲーム感覚で取り組めるような掲示物の作成と、階段や昇降口で毎日目にすることができるような掲示に取り組んでいる。

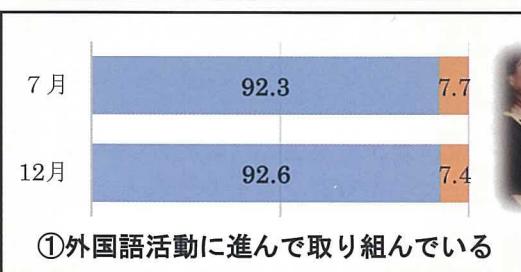


## (3) 児童の変容（調査統計部）

児童の意識調査を7月と12月に実施（対象：①②5,6年 31名、③④1年～6年 82名実施）

■ Yes ■ No

自ら学ぶ意識の高まり！



いきいきとコミュニケーションを図る意識の高まり！



外国語活動は好き（12月 100%）

英語がもっと  
話せたら…



- いろいろな外国人と友達になりたい。
- その国ならではの文化をくわしく知りたい。
- アニメや芸能人のことについて話をしたい。
- 好きなことについて話してみたい。



外国語活動への関心の高まり

## 8 成果と課題

### (1) 研究の成果

- 各教科において、学習のゴールを明確にすることを意識した単元計画を立てることで、児童も何を学べばよいか分かり、授業に主体的に取り組む姿が見られるようになった。
- 児童が効果的にタブレットを活用できるように、事前に課題解決に必要な資料等を準備することで、児童の能動的な学習場面をつくり、主体的に学ぶ姿が見られた。
- 振り返りの時間において、「次は、こんなことがしたいです。」「もっと、～について知りたいです。」という声が聞かれるようになり、児童の意欲が高まった。
- 「○○あてクイズ」など、コミュニケーションの必要性を持たせる場面設定を行うことで、自分の知りたい情報を得ようと工夫する児童の姿が見られた。
- ペア学習の場は、基礎的スキルの定着の場や相互評価の場となり、一人一人の学習を保障するとともに、互いに高め合う学習の展開につながった。
- タブレット録画機能の活用は、児童自身がコミュニケーション活動の様子を振り返ることを可能にし、効果的な自己評価につながった。

### (2) 今後の課題

- 学習のゴールと結びつけた単元計画においては、実用性のある課題設定（1時間ごとの問い合わせ）と関連づけることが必要である。
- 単元計画に応じた自己評価方法の工夫が必要である。
- コミュニケーションに必要な基礎的スキル及びタブレット等の情報機器活用の系統化を明らかにする必要がある。
- タブレットで保存したデータをその後も活用していくよう、個人ファイル等をサーバーに作成して、整理する必要がある。

## おわりに

外国語活動においては、すべての児童が、進んでコミュニケーションを取ろうとする姿が見られ、授業を楽しみにしています。「Y e a h ! 5の日」での朝の英語放送やたてわり班遊びでの英語のゲームが導入されるようになったのもその成果です。

このような中で、少しずつではありますが、自ら学び、いきいきとコミュニケーションを図る児童が育つつあります。まだ、研究の半ばですが、皆様の貴重なご意見をいただきながら、今後も研究を深めていきたいと考えています。

最後になりましたが、ご指導・ご助言を賜りました菊池教育事務所深水宏子指導主事・泗水東小学校井上由紀教頭・(株)グローバルスマイルジャパン代表取締役松本いづみ様、ならびに、本日ご参会くださり、貴重なご意見を頂いた皆様に心より御礼申し上げます。また、熊本県教育委員会、菊陽町教育委員会の皆様に、このような研究の機会を頂いたことを感謝いたします。

## 研究同人

### 【平成28年度】

渡邊 浩文	桑机 久子	土肥 啓史	城ヶ峰由加	大櫛 薫
野田 由美	福田そのみ	西村 幸洋	高本 拓朗	和田美佳子
中村 光志	藤本健一郎	角田 千佳	森田 留梨	西本 千春
森本 圭子	小田 晴子	今村あさみ	田中 文代	矢島 節夫

### 【平成27年度】

柴田 敏博	松田真理子	阪本 和代
-------	-------	-------